ZEH-Mの取得について

Barney’s Capital 合同会社

1. 脱炭素社会の形成に向けた取り組み
弊社は、省エネルギーの推進および再生可能エネルギーの普及等に努めています。その一つとして、開発する集合住宅に関しては、ZEH-Mの取得を基本的施策として掲げ、この施策の継続的な取り組みによって、事業活動を通じ脱炭素社会の形成に貢献していきます。

2. **ZEH-M**の導入計画
弊社では、2024年度以降の竣工物件のすべてにおいて、ZEH-M の取得を目指しております。今後も、主に弊社の賃貸マンションブランド「Minimalism」の開発にあたってはZEH-Mを取得することで、その普及に努めます。

住棟での評価				住戸での評価				住棟での評価における目指すべき水準
	断熱性能 ※全住戸で以下を達成	省エネ率 ※共用部を含む住棟全体で以下を達成			断熱性能 ※当該住戸で以下を達成	省エネ率 ※当該住戸で以下を達成		
		再エネ除く	再エネ含む			再エネ除く	再エネ含む	
『ZEH-M』	強化外皮基準（ZEH基準）	20%	100%以上	『ZEH』	強化外皮基準（ZEH基準）	20%	100%以上	1～3階建
Nearly ZEH-M			75%以上100%未満	Nearly ZEH			75%以上100%未満	
ZEH-M Ready			50%以上75%未満	ZEH Ready			50%以上75%未満	4～5階建
ZEH-M Oriented			再エネの導入は必要ない	ZEH Oriented			再エネの導入は必要ない	6階建以上

出典：経済産業省・環境省
「ZEHの普及促進に向けた政策動向と令和4年度の関連予算案令和4年3月」

① **ZEH-M**普及目標（**2030**年度）

- 低層・中層・高層以上を問わず、2030年度までにZEH-M普及率100%を目指します。

②「目指すべき水準を満たす**ZEH-M**」普及目標（**2030**年度）

- 低層：**100%**
- 中層・高層以上：**100%**（※ただし、現時点での着工計画無し）

③ **2025**年度の**ZEH-M**普及実績

- 低層:0%
- 中層:0%
- 高層以上:0%

④ **2025**年度の登録要件の普及状況(「目指すべき水準を満たす**ZEH-M**」の戸数割合)

- 低層:0%
- 中層:0%
- 高層以上:0%

3. **ZEH-M** の導入予定
ミニマリズム神楽坂 2027年竣工予定